

2022年度事業実績

(特) 岡山県国際団体協議会 (COINN)

“COINN30 周年記念イベント (2022 年度)” へ向けて

(COINN 設立趣旨抜粋)

- (1) 一地方といえども私たちは世界的な視野で世界的問題に対して立ち向かわなければ、将来の世代は存在しない。
- (2) 地域で開発したフィールドワークの経験 (国際救援、技術支援、自立支援、人材の育成等) を、広く社会に周知し共有する。
- (3) 私達は相互に連携して強力な組織を構築し、お互いの団体の足腰を強化して協働する。
- (4) 当協議会は岡山県における国際活動NGOの連携ネットワークのハブ (仲介者) となる。
- (5) 互いの個性や違いを尊重しながら、繋がり、助け合う地球市民社会をさらに成熟させる。
- (6) 各NGO団体の組織基盤の強化を図る。
- (7) 世界の人々と「顔の見える関係」を構築し協力し合う真の地球市民社会を構築する。

(定款抜粋)

1. 当会の目的 (定款第3条)

本法人は、国際NGO及びNPO間の連携を深め、関係機関及び県民との協力のもとに、国際理解・国際交流・国際体験・国際協力・国際支援・国際貢献活動等 (以下「国際活動」という。) の推進を図り、もって国際社会に貢献することを目的とする。

2. 活動の種類 (定款第4条)

国際協力の活動及び当会の目的の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動を行う。

3. 事業計画内容 (定款第5条)

【事業実施の総括】

全体的にほとんどの事業が「コロナ感染状況継続」による影響を受け、オンライン会議となった。しかし、相互に直接、面会することが徐々に増加はしているが、業務は、未だオンライン・テレワークの状態が継続した。特に、海外への訪問、招聘はなかなか困難で今後の国際協力で課題を残さないようにネットワーク強化に努めた。

しかし、このような状況でも、2021年度から開始している公益財団法人 橋本財団から2022年度も「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の事業費300万円の助成金が獲得でき、関係国の担当者や国内・県内とのオンライン会議により事業を遂行することができた。さらに同事業の継続として2023年度向けとして、再度、橋本財団から同事業が選ばれ270万円の助成金が年度内 (2023年3月中) に確定し、2023年度も含めて合計3か年 (2021年度+2022年度+2023年度) で合計870万円の助成金を獲得できた。今後のアジア・太平洋の国々の文部省関係者との優秀人材の受入れの「プラットフォームづくり」の基礎になる大きな弾みとなった。

第1項：会員間の連携・協働を促進する事業

1. 主要事業

(1) 2022年度「世界から選ばれる都市“岡山”を日指して」事業の実施

実施期間：2022年4月1日～2023年3月31日

事業計画：別紙—1：「世界から選ばれる都市“岡山”を日指して」

別紙—2—1：2021年度COINN研究実施計画書（橋本財団）⇒採択

別紙—2—2：2021年度調査スケジュール（橋本財団）

別紙—2—3：2021年度助成金研究完了報告書

別紙—2—4：2021年度実績Webマガジン掲載用原稿

別紙—3—1：2022年度COINN研究実施計画書（橋本財団）⇒採択

別紙—3—2：2022年度調査スケジュール（橋本財団）

別紙—3—3：2022年度助成金研究完了報告書

別紙—3—4：2022年度実績Webマガジン掲載用原稿

(2) ユネスコ国際機関誘致のための作業業務計画書（継続）

別紙—4：ユネスコ国際機関(カテゴリーII)岡山エリア誘致説明資料⇒継続(2022年度報告済み)

関係機関との調整状況

文部科学省 国際統括官 岡村直子氏紹介で下記の方々に説明を行い、今後の対応をお聞きした。

面会日時 2022年10月4日（火）11:00～12:00

文部科学省対応者：国際統括官付国際戦略企画官 白井 俊

国際統括官付国際統括官補佐 堀尾 多香

国際統括官付ユネスコ第一係長 瀬戸 理恵

岡山関係者

日本ユネスコ国内委員会委員

COINN 会員 鈴木昌徳（岡山県ユネスコ連絡協議会会長）

専務理事 兼 事務局長 橋本徹決（岡山県ユネスコ連絡協議会事務局）

別紙—5：文部科学省国際統括官 協力依頼（岡村直子）

別紙—6：文科科学省打ち合わせ結果

(3) COINNのユネスコNGO認証による確認式（オンラインWeb会議）（継続）

①結果

フランス・ユネスコ・パリ本部が2019年12月申請するもコロナ禍で審査が停止しており、2022年度に依頼文を出したところ、年数が3年以上経過しており再提出の指示が出ている。

②今後の方針

国会議員（2名：加藤勝則氏、石井正弘氏）への説明を2022年10月に行い、新たに文部科学省⇒ユネスコ・バンコック事務所⇒ユネスコ・パリ本部を通じて提出することになった。

③実施方法：

別紙—7：COINN基本構想（国際活動団体再結集）について（案）

a) 将来のCOINNの事業計画内容の発表（事業内容、事業実施場所、事業組織、資金）

b) 国内関係者への連絡調整（テレワークによる国内協議）

c) 国外連携機関（30か所以上）への連絡調整（オンラインWeb会議による海外協議）

2. 定例事業

①地元商店街行事の再検討会議への参加（継続）

地元町内会と調整し、国際活動の発展を期すため、ユネスコNGO認定後に下記の事業展開を図る。⇒コロナ禍で困難。但し、何らかの夏祭りの小イベント（物売り、金魚釣り等）を実施

- a) 毎年7月最後の土曜日に行っていた奉還町ニューウエストウインド（夏祭り）を発展させた在留外国人文化交流活動発表会を行う。⇒継続協議
・各国民族舞踊 ・料理 ・生活習慣展示
- b) 上記検討会の実施

地元商店街は、昔から岡山国際交流センターを中心に国際的な街にしたいという希望があった。COINN がユネスコのNGO認証を取得することは、その第一歩となる。

検討会参加者：岡山県国際団体協議会、石井学区連合町内会、奉還町商店街振興（予定）組合、協同組合西奉還町商店会、石井地区社会福祉協議会、石井学区内各団体
会計：(財)岡山県国際交流協会（想定）

②岡山市・ESD推進協議会委員会への参加

岡山県（国際課）、岡山市SDGs・ESD推進課が行う事業への参加
2022年度会議に委員として事務局長が参加
日時：令和4年5月12日（木）13：30～15：00
場所：岡山市勤労者福祉センター4階大会議室

③国際会議・国際協力：

- a) [第10回アジア青年未来プロジェクト—青年の地域定住促進（CLC地域おこし）]ネパール代表CLC地区モデル・スタッフ育成—オンラインWeb会議による地域開発の意見交換と実施—**文部科学省委託事業を申請**
(内容)テレビ会議システム（ズームZOOM ウェブカメラ オンライン・ミーティング）

2022年度COINN応募企画書(文部省)⇒不採択⇒継続申請予定⇒2023年度再申請
(内容)令和4(2022)年度 ユネスコ未来共創プラットフォーム事業「海外展開を行う草の根のユネスコ活動(再委託)」企画書(内容は2023年度分参照のこと)

別紙—8：令和4(2022)年度「海外展開を行う草の根のユネスコ活動(再委託)」に係る公募の審査結果について(通知)

- b) COINNが招聘した南アジア・東南アジア文部科学省政府職員とのオンラインWeb会議(第一回)⇒文部科学省申請で不採択。2023年度に再申請
参加国:10か国(ネパール、ベトナム、インドネシア、フィリピン、タイ、バングラデシュ、ラオス、カンボジア、マレーシア、日本)の政府関係職員等との共催
テーマ：地域開発と青年—日本の協力体制はどうあるべきか—
日程：2022年12月中旬

- c) 新・異文化理解事業フォロー—事業⇒継続(2023年度に「多文化共生まちづくり」で実施予定)

内容：ライングループ、メーリングリストの構築(継続)
ワーキンググループの構築(継続)

別紙—9：新・異文化理解事業フォローアップ事業(オンラインWeb会議)

d) 外国人との相互理解促進事業

内容：各国異文化社会の相互共通認識と相互協力パートナーの構築

⇒バングラデシュ、ネパール、インドネシア、フィリピン、ベトナム等の岡山住民組織と協議し、各国住民組織が COINN の会員となり、代表が理事となる予定。（2023 年度総会で決定）

別紙—10：岡山在留外国人と岡山県民との相互理解・交流促進事業⇒
継続（2023 年度に「多文化共生まちづくり」で実施予定

第2項：各種国際活動の推進を図る事業

①SDGs・ESD活動団体交流会

岡山市が開催するESD市民フォーラム・交流会事業等の事業に参加

②「SDGs フォーラム in 岡山」等（会場 岡山大学、その他）に参加

岡山市・RCE 岡山、ユネスコ・アジア文化センター（日本）、アジア太平洋国際理解教育センター（韓国）、アジア太平洋 ESD 研究所（中国）等の共催事業に参加

③岡山市のユネスコ/日本ESD賞賞金による若者向け助成事業の広報の実施

若者が海外に向けて学習する機会を与える事業

・グローバルな視野を持って岡山地域の持続可能な社会づくりに向けた取組にチャレンジする若者を対象に、研修経費を助成する事業に参加広報

④岡山市のSDGs フォーラム（12 月開催 会場：岡山コンベンションセンター等）への参加促進広報

⑤SDGs ネットワーク事業提案（異文化理解事業継続）

2019 年度に行った異文化理解事業の参加者（20 か国以上）の方々に夫々の各国SDGs の活動を紹介する事業の提案広報⇒「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の事業の中で行っていく。

別紙—11：「ミニSDGs 国際活動 in Okayama , 2024 への準備」⇒継続

参加国：ベトナム、ネパール、インドネシア、フィリピン、トルコ、ブラジル、アメリカ、フランス、ニュージーランド、韓国、イタリア、オーストラリア、中国、マレーシア、スウェーデン、スイス、オーストリア、イギリスカナダ、ジャマイカ、コロンビア、バングラデシュ、日本

形 式：オンライン Web 会議形式⇒継続：各国在留外国人に個別にオンライン会議形式で意見を聞いてまとめている。

（2022 年度 2023 年度は、ミニタイプを行い 2024 年度に海外参加者を募集して本格的なオンライン世界SDGs 大会を行います。）

第3項：国際活動に関する内外の情報収集と提供事業

①ニュースレターの発行

在留外国人やアルバイト学生を3数団体に派遣します。特に、留学生や技能実習生の在留外国人の実情を掲載する方向で検討している。⇒各国際活動団体にオンラインで情報を流している。

②岡山発国際貢献推進協議会主催行事への参加

総会・活動事例発表会に参加

③JICA関西主催

開催イベントの内容を広報します。草の根協力事業に参加の為、JICA 中国と協議（2022年11月8日岡田 務所長、市民参加協力課 課長 澁谷和朗、専門嘱託 齋藤あい）

第4項：会員間の情報交換、情報発信等の支援事業（部会長と調整予定）

①COINN 加入メリット増強策

COINN 会員団体向けの出張ボランティア⇒特に在留外国人を派遣します。

多文化共生で「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の事業で在留外国人に COINN に加入して頂き各団体と連携していく。

②組織変更に関する課題協議（継続）

⇒2022 年度は、在留外国人のコミュニティー組織に COINN 会員に加盟して頂き、新たな組織を構築予定。

a) COINN の基本構想に沿った内容を検討します。

・新部会の立上（参加者で部会内容を検討する）

例) 各国文化紹介部会、各国人材紹介部会、民間外国人ハローワーク設立部会、CLC地域開発協働協力部会

・関係国

ベトナム、ネパール、インドネシア、フィリピン、トルコ、ブラジル、アメリカ、フランス、ニュージーランド、韓国、イタリア、オーストラリア、中国、マレーシア、スウェーデン、スイス、オーストリア、イギリスカナダ、ジャマイカ、コロンビア、バングラデシュ、日本

第5項：会員と他分野の民間団体、並びに行政機関、国際機関、企業・経済団体、教育機関等との連携を促進する事業（継続）

①ユネスコ・パリ本部と NGO 認証式参加（オンライン Web 会議開催）⇒延期

②岡山大学等教育委機関との連携⇒延期（新岡山大学学長が就任したため）

COINN がユネスコ・パリ本部からユネスコ NGO 認証を取得後に岡山大学学長 榎野博史 氏に面会し協議する。事前に横井篤文副学長（特命（海外戦略）担当）に面会を行う。

③南アジア・東南アジアのユネスコ認証 NGO との連携事業⇒（延期）

a) 特定の団体を選択し、事業内容を調査し、協働可能なものを選択する。

b) 特定のユネスコ認証 NGO と オンライン Web 会議 を開催する。

④岡山県等との協働事業提案⇒延期

a) 国際貢献月間に向けた 2022 年 10 月資料の会員への広報実施（広報実施）

b) 国際活動団体協働・ネットワーク・フォーラムー

目的：「時代の変革に相応した国際活動と組織づくり」

別紙ー12：「国際活動団体・ネットワーク・フォーラム（案）」

（オンライン Web 会議）

⑤一般財団法人岡山県国際交流協会（OPIEF）主催事業への参加（継続）

a) 令和 4 年度国際貢献 NGO フェアへの出展への個別参加⇒参加

NPO 法人国際協力研究所・岡山 (NPO IC01) NPO 法人岡山県国際団体協議会 (COINN) 認定 NPO 法人ハート・オブ・ゴールド 日中友好協会岡山支部 岡山発国際貢献推進協議会 岡山ユネスコ協会 岡山エスペラント会 日本ボーイスカウト岡山連盟 NPO 法人岡山日本語センター (OJC)

- b) 令和4年度国際理解学習プラン講師派遣事業への個別参加
関係者へ広報実施
- c) 令和4年度国際理解・協力活動等助成金事業への個別参加
関係者へ広報実施
- d) 令和4年度国際貢献・協力セミナーの共催の個別参加
関係者へ広報実施
- e) 令和4年度COINN活動支援助成事業申請（10万円リソグラフ）
「特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会活動支援助成事業申請」実施
- f) 令和4年度岡山国際交流センター防火対策協議会参加会議に参加

⑥岡山NPOセンター関係事業

- a) 「SDGsネットワークおかやま」会議に参加（会員）⇒オンライン
- b) NPO法人岡山NPOセンター通常総会参加⇒オンライン

⑦助成財団への申請

- a) 申請組織立上げ（申請作成の報償制度、COINN 内部コンサルタント制度）（継続）
- b) 検討先（継続）

日本政府（外務省、文部科学省）継続

内容：CLCを拠点とした地域住民（青年）主体の「“人・組織・地域”づくり」と「ライフ・システム支援プログラム」の構築（※CLC=Community Learning Center）

例—1：令和4（2022）年度 ユネス コ未来共創プラットフォーム事業「海外展開を行う草の根のユネスコ活動（再委託）」 企画書（再申請）
（2023年度事業に掲載）

例—2：2019年度の異文化理解事業の結果を踏まえ、その内容を継続していくために岡山県・岡山市・橋本財団（岡山県内の財団）トヨタ財団等に申請する。⇒橋本財団に申請

別紙—13：「岡山在留外国人と共生社会」COINN 企画書⇒継続

- c) 外務省インターンシップへの申請（継続）

- d) 「世界の人びとのための」ICA基金」への申請（継続）

CLC（コミュニティー・学習・センター：日本の公民館に相当）の「人づくり」「組織づくり」「地域づくり」の一事業提案（上記bの申請内容例と同じ）

⑧ESD学会への加入と事業への参加（継続）

総会と事業に参加

第6項：研修・講演会等の開催事業

①ファンドレイジングの方法研修（認定ファンドレイザー研修）

講師：日本ファンドレイジング協会 代表理事 鶴尾 雅隆 氏

日時：2022年9月頃（オンラインWeb授業）⇒継続

②民間ハローワーク（外国人向け）設置の方法について⇒継続検討

- a) 岡山労働局 〒700-8611 岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎

③MSCの概略・目的・特徴・事例紹介の講義⇒継続検討

（注）MSC（モスト・シグニフィカント・チェンジ）は、欧米のNGOが使っている参加型・質的評価手法（オンラインWeb授業）

- ・演習：「最も重大な変化を選ぶ」ステップの体験
- ・まとめと振り返り
- ・講師：一般社団法人参加型評価センター代表理事 田中 博 氏

- ④NPOセンター開催の研修会への参加 継続
- ⑤外務省・JICA共同説明会への参加 継続

- ⑥岡山大学副学長 横井篤文 氏 講演への参加 継続

第7項：その他、協議会の目的達成のために必要な事業

①会員向けサービスの提供

- a) 会議室の調整：交流プラザ（9：00～21：00）

別紙—14：交流プラザ利用実績

県民、市民への利用促進、会員へ利用広報、

- b) 会員私書箱のメールボックスの利用調整（郵便物配付含む）
- c) 各団体の情報提供（COINNホームページ掲載）
- d) 事務局の運営（会員入会登録管理事務、理事会、部会、総会、法務局届出、受付文書受理業務）

②COINN 活動収益事業の実施

- a) 八塔寺国際交流ヴィラ、八塔寺山荘の受付事務
- b) 再オープン国際交流ヴィラへの協力・調整

4. 管理運営業務

(1) 会議等の開催

- ①総会 年1回
- ②理事会開催（オンライン Web 会議の実施）
2カ月毎に1回⇒オンラインで4回実施
- ③COINN 理事連絡会メール：随時
- ④COINN 会員交流会

(2) ヴィラ委託事務（八塔寺国際交流ヴィラ、八塔寺山荘：宿泊者の世界からの受付業務）

- (3) 入会受付審査
- (4) 会員登録事務
- (5) 会員メール情報提供事務
- (6) イベント実施結果の情報授受とホームページ掲載
- (7) メールボックス設置とメールの配布（1階→6階）
- (8) 会員管理事務（会員名簿作成事務）
新入会：スペイン語文化研究会

(9) 会員間の情報伝達事務

(10) 関係機関通知文等処理

（懸案事項）特に、岡山市からNPO法に基づく決算方式に修正してもらいたい希望が出ている。⇒2022年度実績（特に決算）はNPO法に基づいて行った。

(11) 岡山国際交流センター管理者への協力

- ①センター建物利用者連絡会議 2回出席
- ②消防訓練 1回出席

(12) アルバイトの採用（広報）

(13) その他（起案・決裁）

活動計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	113,240	0	113,240
2. 受取寄附金			
受取寄附金	0	2,600,000	2,600,000
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0	3,100,000	3,100,000
4. 事業収益			
委託料	0	145,025	145,025
5. その他収益			
受取利息	5	15	20
経常収益計	113,245	5,845,040	5,958,285
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0	640,000	640,000
臨時雇賃金	0	2,071,320	2,071,320
通勤費	0	4,080	4,080
人件費計	0	2,715,400	2,715,400
(2) その他経費			
印刷製本費	0	205,673	205,673
旅費交通費	0	600,131	600,131
通信運搬費	0	1,764	1,764
備品消耗品費	0	55,303	55,303
修繕費	0	48,880	48,880
貸借料	0	88,128	88,128
支払手数料	0	76,200	76,200
雑費	0	28,930	28,930
その他経費計	0	1,105,009	1,105,009
事業費計	0	3,820,409	3,820,409
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	721,137	0	721,137
法定福利費	7,171	0	7,171
通勤費	153,600	0	153,600
福利厚生費	37,010	0	37,010
人件費計	918,918	0	918,918
(2) その他経費			
印刷製本費	141,448	0	141,448
会議費	76,987	0	76,987
旅費交通費	14,420	0	14,420
通信運搬費	217,020	0	217,020
備品消耗品費	77,379	0	77,379
水道光熱費	42,000	0	42,000
貸借料	302,344	0	302,344
減価償却費	40,000	0	40,000
諸会費	21,000	0	21,000
租税公課	1,650	0	1,650
研修費	77,750	0	77,750
新聞図書費	38,600	0	38,600
雑費	4,620	0	4,620
その他経費計	1,055,218	0	1,055,218
管理費計	1,974,136	0	1,974,136
経常費用計	1,974,136	3,820,409	5,794,545
当期経常増減額	△ 1,860,891	2,024,631	163,740
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	2,024,631	△ 2,024,631	0
税引前当期正味財産増減額	163,740	0	163,740
当期正味財産増減額	163,740	0	163,740
前期繰越正味財産額	△ 620,000	0	△ 620,000
次期繰越正味財産額	△ 456,260	0	△ 456,260

事業名：一般会計

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで		特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会 (単位：円)	
科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	113,240	113,240	
2. その他収益			
受取利息	5	5	
経常収益計			113,245
II 経常費用			
1. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	721,137		
法定福利費	7,171		
通勤費	153,600		
福利厚生費	37,010		
人件費計	918,918		
(2) その他経費			
印刷製本費	141,448		
会議費	76,987		
旅費交通費	14,420		
通信運搬費	217,020		
備品消耗品費	77,379		
水道光熱費	42,000		
賃借料	302,344		
減価償却費	40,000		
諸会費	21,000		
租税公課	1,650		
研修費	77,750		
新聞図書費	38,600		
雑費	4,620		
その他経費計	1,055,218		
管理費計		1,974,136	
経常費用計			1,974,136
当期経常増減額			△ 1,860,891
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
経理区分振替額			2,024,631
税引前当期正味財産増減額			163,740
当期正味財産増減額			163,740
前期繰越正味財産額			△ 620,000
次期繰越正味財産額			△ 456,260

事業名：(合計)特別会計

活動計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会
(単位：円)

科 目	OPIEF 委託事業	ユネスコ 誘致事業	国際交流ヴィ ラ委託事業	橋本財団	合計
I 経常収益					
1. 受取寄附金					
受取寄附金	0	2,600,000	0	0	2,600,000
2. 受取助成金等					
受取民間助成金	100,000	0	0	3,000,000	3,100,000
3. 事業収益					
委託料	0	0	145,025	0	145,025
4. その他収益					
受取利息	0	0	0	15	15
経常収益計	100,000	2,600,000	145,025	3,000,015	5,845,040
II 経常費用					
1. 事業費					
(1) 人件費					
給料手当	0	0	0	640,000	640,000
臨時雇賃金	0	79,120	0	1,992,200	2,071,320
通勤費	0	4,080	0	0	4,080
人件費計	0	83,200	0	2,632,200	2,715,400
(2) その他経費					
印刷製本費	0	0	0	205,673	205,673
旅費交通費	0	0	0	600,131	600,131
通信運搬費	0	0	1,024	740	1,764
備品消耗品費	22,440	0	0	32,863	55,303
修繕費	0	0	0	48,880	48,880
貸借料	88,128	0	0	0	88,128
支払手数料	0	3,200	5,000	68,000	76,200
雑費	330	990	440	27,170	28,930
その他経費計	110,898	4,190	6,464	983,457	1,105,009
事業費計	110,898	87,390	6,464	3,615,657	3,820,409
経常費用計	110,898	87,390	6,464	3,615,657	3,820,409
当期経常増減額	△ 10,898	2,512,610	138,561	△ 615,642	2,024,631
III 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
IV 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
経理区分振替額	10,898	△ 2,512,610	△ 138,561	615,642	△ 2,024,631
税引前当期正味財産増減額	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	0	0	0	0	0
前期繰越正味財産額	0	0	0	0	0
次期繰越正味財産額	0	0	0	0	0

事業名：OPIEF委託事業

活動計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取助成金等			
受取民間助成金	100,000	100,000	
経常収益計			100,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) その他経費			
備品消耗品費	22,440		
賃借料	88,128		
雑費	330		
その他経費計	110,898		
事業費計		110,898	
経常費用計			110,898
当期経常増減額			△ 10,898
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
経理区分振替額			10,898
税引前当期正味財産増減額			0
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			0

事業名：ユネスコ誘致事業			
活動計算書			
令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで			
特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会 (単位：円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取寄附金			
受取寄附金	2,600,000	2,600,000	
経常収益計			2,600,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	79,120		
通勤費	4,080		
人件費計	83,200		
(2) その他経費			
支払手数料	3,200		
雑費	990		
その他経費計	4,190		
事業費計		87,390	
経常費用計			87,390
当期経常増減額			2,512,610
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
経理区分振替額			△ 2,512,610
税引前当期正味財産増減額			0
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			0

事業名：国際交流ヴィラ委託事業			
活動計算書			
令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで			
特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会 (単位：円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 事業収益			
委託料	145,025	145,025	
経常収益計			145,025
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) その他経費			
通信運搬費	1,024		
支払手数料	5,000		
雑費	440		
その他経費計	6,464		
事業費計		6,464	
経常費用計			6,464
当期経常増減額			138,561
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
経理区分振替額			△ 138,561
税引前当期正味財産増減額			0
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			0

事業名：橋本財団

活動計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取助成金等		
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000
2. その他収益		
受取利息	15	15
経常収益計		3,000,015
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	640,000	
臨時雇賃金	1,992,200	
人件費計	2,632,200	
(2) その他経費		
印刷製本費	205,673	
旅費交通費	600,131	
通信運搬費	740	
備品消耗品費	32,863	
修繕費	48,880	
支払手数料	68,000	
雑費	27,170	
その他経費計	983,457	
事業費計		3,615,657
経常費用計		3,615,657
当期経常増減額		△ 615,642
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
経理区分振替額		615,642
税引前当期正味財産増減額		0
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		0

貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
前払金	88,500	
仮払金	1,500	
流動資産合計		90,000
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	80,000	
有形固定資産計	80,000	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		80,000
資産合計		170,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	6,260	
流動負債合計		6,260
2. 固定負債		
長期借入金	620,000	
固定負債合計		620,000
負債合計		626,260
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		△ 620,000
当期正味財産増減額		163,740
正味財産合計		△ 456,260
負債及び正味財産合計		170,000

財 産 目 録

令和 5年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	0	
預金		
中国銀行/普通預金	0	
トマト銀行/普通預金	0	
前払金	88,500	
仮払金	1,500	
流動資産合計		90,000
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	80,000	
有形固定資産計	80,000	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		80,000
資産合計		170,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	6,260	
流動負債合計		6,260
2. 固定負債		
長期借入金	620,000	
固定負債合計		620,000
負債合計		626,260
正味財産		△ 456,260

前事業年度の年間役員名簿

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31日)

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会

No.	役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報 酬 を 受 け た 期 間
1	理事長	青山 勲		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
2	副理事長	岡本 俊則		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
3	専務理事	橋本 徹決		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
4	理事	谷本 基		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
5	同	チフチ・アイテ キ		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
6	同	片山 哲也		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
7	同	小林 勉		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
8	同	有竹 正寿		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
9	同	長木 愛		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
10	同	近藤 英生		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
11	同	坪井 喜久太		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
12	監事	玄古 真祥		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し
13	監事	桔梗 博充		2022年4月1日 ～2023年3月31日	報酬無し